

マリナライフ

[Vol. 101]

【平成22年度夏休み自然・科学体験教室】

楽しい思い出がいっぱい！

ふるさとの自然とサイエンスを満喫



8月10日（火）・11日（水），市内小中学生5・6年生を対象とした「夏休み自然・科学体験教室」が行われました。今年のテーマは「昔の遊びを科学する」。ふるさとの海にはどんな生き物たちがいるのか，昔の遊びにかくされた「科学の原理」を利用し，「ものづくり」や「科学遊び」にチャレンジしてもらう2日間となりました。



イニシアティブゲームで楽しく自己紹介♪

午前9時30分，さとうみ科学館の体育館に集合。開会式を終え，そのまま最初のプログラムの「イニシアティブゲーム」を開始。浜口秀生さん（江田島市子ども会連合会）の指導のもと，楽しいゲームでみんなあつという間に仲良くなりました。

昼食を終え，船に乗って無人島「長島」へ出発！江田島市ジュニアリーダーズクラブの中学生にリーダーとしてそれぞれ班についてもらい，サザエやタコなどたくさんの生き物を見つけながら，島を1周しました。

夜のプログラムでは，手づくりの「回り灯籠」を作って，ライトアップの世界を楽しみました。うまく回らず，試行錯誤しながら，就寝時間ぎりぎりまで粘って完成させた根気強い人もいました。

2日目は，今回のテーマである「昔の遊びを科学する」ということで，ローソクで加熱すると動き出す「ポンポン船」や，てんびんの原理を応用したおもちゃ「やじろべえ」，そして，簡単に作れる三枚羽根の「ブーメラン」などのものづくりに挑戦し，科学遊びを楽しみました。

昼食は，暑い夏にぴったりな「冷やし中華」を作りました。タレ作りや盛り付けなど班で協力して行い，美味しい冷やし中華を完成させていました。

この体験教室を機に，ふるさとの自然や，身近な科学に興味をもってもらえたらいいなあと思います。



きれいだな



ポンポン船大成功！



ブーメランちゃんと戻ってくるかな～？



岩の裏に生き物発見！！

☆ お礼 ☆

今回の夏休み自然・科学体験教室を進めるにあたり，長島へ船で渡る際や各プログラムの実施には，江田島市子ども会連合会や江田島市ジュニアリーダーズクラブ，さとうみ科学館ボランティアのみなさんなど，たくさんの方々にサポートしていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

中学生の専門員大活躍！！



さとうみ科学館では、今年度も職場体験学習の受け入れを行いました。今年度は、大柿中学校6人、能美中学校4人の計10人で、過去最多の人数でした。日頃さとうみ科学館で行っている教育普及活動・調査研究活動をはじめ、さまざまな業務に取り組んでもらいました。

◆職場体験のメンバー◆

沖元 啓次郎くん、重長 祐くん、木田 真哉くん、熊野 憲太くん、出木 里紗さん、橋野 和範くん、速山 優くん、護山 一乗くん、柳生 大樹くん、藪下 賢司くん

＜さとうみ科学館における職場体験学習のポイント＞

1. 「あいさつ」を大切に！

人と関わる仕事です。館内の人や訪問先の人との関わりがあります。人との出会いの最初は、「あいさつ」からはじまります。第一印象・スタートを大切にしましょう。



2. 仕事の説明を聞いて、わからないことがあったら、必ず質問！

水そうのそうじの仕方をはじめ、専門的なことがいくつかあります。その説明を聞いたとき、わからないまま仕事をする、ミスにつながります。わからないことがあったら、すぐ質問する習慣を身につけましょう。



3. 「仕事」と「休憩」のメリハリをつけ、チームで協力して取り組む！

メリハリは何をする上でも大切なことです。仕事するときは、集中してチームで協力してやり切る。休むときは休む。このメリハリで仕事の能率は上がります。



大古児童会で大活躍！



実験道具づくりに挑戦！

★今回の仕事内容★

・水槽メンテナンス

⇒水槽の洗い、海水を汲む。



・野外調査

⇒小学校の野外調査の支援をする。

・実験道具づくり

⇒科学実験教室用の実験道具をつくる。



・放課後児童クラブでの支援

⇒放課後児童クラブでの科学実験教室で、児童の支援をする。

・館の維持管理

⇒グラウンドの草刈りをする。



・寄贈品や設備品の整理整頓

⇒寄贈図書やテントなどの整理整頓をする。

・講義

⇒「水産系大学研究室及び、水産関係の職場の話」「職業についての話」を聴く。

職場体験を振り返って、生徒たちから一言！

職場体験レポート

<職場体験を振り返って印象に残ったこと>

水そうのメンテナンスです。理由は水そうを運ぶことや洗うことは家でもたまにするのですが、さとうみ科学館の水そうは大きく、運ぶのも洗うのも大変だったからです。でも、みんなで協力できたので良かったです。 橋野 和範

印象に残ったことは、大柿中学校に行き、大型の水そうを運び出した後、きれいに洗ったことです。ここで、水そうのメンテナンスという仕事の仕方や、協力して仕事をする事の大切さを学びました。 柳生 大樹

児童クラブの子どもたちと一緒に実験をしたことです。自分たちで準備したものを児童クラブのみんなに喜んでもらえたのでうれしかったです。速山 優

5日目の職業についての話です。15才で職業を決めた人やどん底から成功した人、ロータリーエンジンを実用化した人などいろいろな人がいます。印象に残った理由は、自分の将来の参考となる話だったからです。 沖元 啓次郎

<職場体験を通して学んだこと>

力を合わせれば、仕事が早く済むことを学びました。理由は、海水を汲むとき、ふつうはかなり時間がかかると聞いていたのですが、みんなで力を合わせたから、すぐできたからです。 熊野 憲太

職場体験を振り返って、自分の見つけたよい面や自信のついたことは、実験道具づくりのとき、カッターで画用紙を切ったことです。何度もやるうちにうまく切れるようになりました。 護山 一乗

指示が出された後によく分からないことがあるときは、質問をすることです。そうしないときちんと仕事がこなせないからです。また、人の話を聞くことは大切なことだと思います。学校でも人の話をきちんと聞くようにしていきたいです。 木田 真哉

一番気をつけようと思ったことが、礼儀や態度です。あいさつや返事がきちんとできない人は、どこへ行っても悪い印象を与えてしまうので、礼儀・態度はきちんとしたいです。 重長 祐

<今後、職場体験をどのように活かしていきますか？>

仲間との協力、人間関係を活かし、これから関わる人々と上手くやっていけたらと思います。また、あいさつについて、普段声が出なかった私ですが、職場体験で声が出せるようになりました。学校でも職場でも大きく笑顔であいさつをしたいと思います。 出木 里紗

堀之内九一郎さんの一言が心に残りました。「分かれた道では、絶対に得しそうではなく楽しそうを選べ」という一言です。給料が高いからこっちへ行こうではなく、楽しそう、自分に合っているからという理由で選べという意味です。仕事で成功している人は皆そうだと思います。 藪下 賢司



職場体験を終え、みんな日を追うごとに仕事の能率が上がり、成長が伺えました。また、チームで協力し集中して取り組むことの大切さも感じていました。このように、目標をもち、チームで協力して仕事をする事で目標以上の成果が得られます。学校生活においても将来の目標をもち、ひたむきにがんばってほしいものです。

※今月は「やってみよう 見てみよう」のコーナーはお休みします。

チリメンモンスターを探せ!

「チリメンモンスター」とは、ちりめんじゃこやしらす干しなどに混じっているととても小さな生き物たちのことです。目をこらしてよく探してみると、イカやタツノオトシゴなどの小さな生き物がたくさん混じっています。

どんなチリメンモンスターがいるのか探してみませんか? 見たこともない小さな生き物を発見できるかも!?

日 時:平成22年10月2日(土)

13:00 ~ 15:00

集合時間:13:00

集合場所:さとうみ科学館2階 実験室

申し込み:平成22年10月1日(金)までに

さとうみ科学館事務局へお申し込み下さい。

【ちりめんじゃこ】



潮見表 10月の観察に適した日時 (干潮時刻と潮位)

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
時分	8:04	9:34	11:24	0:41	1:30	2:12	2:51	3:30	4:07	4:44	5:21	5:58	6:36	7:18	8:18	
cm	99	113	106	153	116	79	46	22	8	5	14	32	58	89	118	
時分	21:20	23:30		12:43	13:40	14:28	15:11	15:52	16:31	17:10	17:49	18:29	19:15	20:22	22:23	
cm	199	186		83	60	46	44	53	71	95	122	149	173	192	193	
10月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
時分	10:04	11:40	0:46	1:25	1:57	2:27	2:55	3:24	3:54	4:26	4:59	5:34	6:12	6:57	7:57	9:18
cm	138	137	149	123	98	76	56	41	30	25	26	32	45	62	83	100
時分	23:52		12:45	13:32	14:09	14:43	15:14	15:06	16:18	16:52	17:28	18:07	18:53	19:52	21:15	22:51
cm	175		125	112	101	94	92	94	100	110	122	137	153	167	170	154

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

広島県の暦象と潮位 (日本気象協会中国センター) から

潮位30cm未満 (網掛けになっている日) が調査に適しています。

事務局だより

●きれいになりました!...8月28日(土),29日(日),深江地区のみなさんが、さとうみ科学館グラウンドの草刈りをしてくださいました。たくさんの方々が集まり、とてもきれいになりました。深江地区のみなさん、ありがとうございました。

●表彰式...9月1日(水),鹿川小学校で、大柿自然環境体験学習交流館の愛称決定の表彰式が行われました。「さとうみ科学館」という愛称を応募してくれた鹿川小学校6年生の木村雄平君には、江田県市教育委員会万治功教育長より、表彰状と記念品が贈呈されました。木村雄平君をはじめ、ご応募いただいた皆様には、心よりお礼申し上げます。

●投稿・情報大募集...みなさんからの投稿をお待ちしております。次号 Vol. 102 (10月15日号)の原稿締切は、10月12日(火)です。

江田県市教育委員会生涯学習課 大柿自然環境体験学習交流館

さとうみ科学館

Satoumi Science Museum (SSM)

〒737-2214

広島県江田県市大柿町深江1073番地1

TEL:(0823)57-2613

FAX:(0823)40-3100

メール:satoumimail@yahoo.co.jp

HP:『さとうみ科学館』で検索

◆事務局スタッフ◆

館 長:西原 直久
指 導 主 事:八川 慎一
専 門 員:清家 暁
" :山本 真悠子
支 援 員:中川 雄喜



(友の会会員 シニア 140名 ジュニア 69名)

◆あとがき◆9月7日(火),さとうみ科学館に、大古保育園のみなさんが遠足に来てくれました。好奇心旺盛で、海の生き物に興味津々な様子でした。最後に、エビカニダンスを全員で踊って見せてくれました♪とっても可愛かったです☆(山本)